

科目名	現代の国語	単位数	2単位
		学年等	3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>「高等学校 現代の国語」(第一学習社)</p> <p>「アライブ国語常識」(浜島書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ものの見方を変える <ul style="list-style-type: none"> ・「生きもの」として生きる ○小説 <ul style="list-style-type: none"> ・城の崎にて ○対比 <ul style="list-style-type: none"> ・「間」の感覚 ○具体と抽象 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語は世界をこのように捉える ○実用的な手紙の書き方 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業の行動観察 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業の行動観察 ・ワークシート
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○科学者の論理 <ul style="list-style-type: none"> ・「文化」としての科学 ○環境保全と開発の両立をめざして <ul style="list-style-type: none"> ・ロビンソンの人間と自然 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業の行動観察 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業の行動観察 ・ワークシート

	○小説 ・こころ ○待遇表現			
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	○小説 ・卒業ホームラン ○合意形成のための話し合いを行う	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業の行動観察 ・ワークシート	・定期考査 ・授業の行動観察 ・ワークシート
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○ものの見方を変える ・「生きもの」として生きる	13
	5	○小説 ・城の崎にて	
	6	○対比 ・「間」の感覚	
	7	○具体と抽象 ・日本語は世界をこのように捉える ○実用的な手紙の書き方	
		1学期中間考査	
2 学 期	8	○科学者の論理 ・「文化」としての科学	15
	9	○環境保全と開発の両立をめざして ・ロビンソンの人間と自然	
	10	○小説 ・こころ	
	11		
	12	○待遇表現	
		2学期中間考査	
		1学期期末考査	
3 学 期	1	○小説 ・卒業ホームラン	8
	2	○合意形成のための話し合いを行う	
	3		
		2学期期末考査	
		卒業考査	

5 その他

・副教材『アライブ国語常識』を、定期試験毎の課題とする。